

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成17年9月2日(2005.9.2)

【公開番号】特開2003-63923(P2003-63923A)

【公開日】平成15年3月5日(2003.3.5)

【出願番号】特願2002-153925(P2002-153925)

【国際特許分類第7版】

A 6 1 K 7/00

A 6 1 K 7/06

A 6 1 K 7/075

A 6 1 K 7/08

A 6 1 K 7/09

A 6 1 K 7/13

A 6 1 K 7/48

C 0 7 C 209/12

C 0 7 C 211/63

C 1 1 D 1/62

C 1 1 D 3/20

【F I】

A 6 1 K 7/00 C

A 6 1 K 7/06

A 6 1 K 7/075

A 6 1 K 7/08

A 6 1 K 7/09

A 6 1 K 7/13

A 6 1 K 7/48

C 0 7 C 209/12

C 0 7 C 211/63

C 1 1 D 1/62

C 1 1 D 3/20

【手続補正書】

【提出日】平成17年2月25日(2005.2.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0046

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0046】

使用される界面活性剤はアニオン性、カチオン性、非イオン性、両性および/または双性イオン界面活性剤である。有利な非イオン界面活性剤は、親水性基としてポリオール基、ポリアルケニルエーテル基、またはポリオール基とポリグリコールエーテル基との組合せを有している。2~30モルのエチレンオキシド、2~30モルのエチレンオキシドと一緒に5モルまでのプロピレンオキシドまたは5モルまでのプロピレンオキシドが炭素原子数8~22の直鎖状脂肪アルコールおよびアルキル基中炭素原子数8~15のアルキルフェノールに付加した付加生成物、グリセロールに1~30モルのエチレンオキシドが付加した付加生成物の(C₁₂~C₁₉)_n-脂肪酸モノ-およびジエステル、飽和および不飽和(C₈~C₁₈)_n-脂肪酸のグリセロールモノ-およびジエステルおよびソルビタンモノ-およびジエステル、およびそれらのエチレンオキシド付加生成物、(C₈~C₁₈)_n-アル

キルモノ - および - オリゴグリコシド類およびそのエトキシリ化類似物、ひまし油および水素化ひまし油に 10 ~ 60 モルのエチレンオキシドが付加した付加生成物、エトキシリ化および非エトキシリ化モノ - 、ジ - およびトリアルキルモノリン酸エステル、特にモノ - 、ジ - およびトリ(ラウリルテトラグリコールエーテル) o - リン酸エステルおよびモノ - 、ジ - およびトリ(セチルテトラグリコールエーテル) o - リン酸エステルが有利である。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0048

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0048】

特に適する双性イオン界面活性剤はベタイン類、例えば N - アルキル - N , N - ジメチルアンモニウムグリシナート類、例えばココアルキルジメチルアンモニウム - グリシナート類、N - アシルアミノプロピル - N , N - ジメチルアンモニウムグリシナート類、例えばココアシルアミノプロピルジメチルアンモニウムグリシナート、2 - アルキル - 3 - カルボキシメチル - 3 - ヒドロキシエチルイミダゾリン類(これらはいずれもアルキルまたはアシル基中炭素原子数が 8 ~ 18 である)およびココアシルアミノエチル - ヒドロキシエチルカルボキシメチル - グリシナートである。